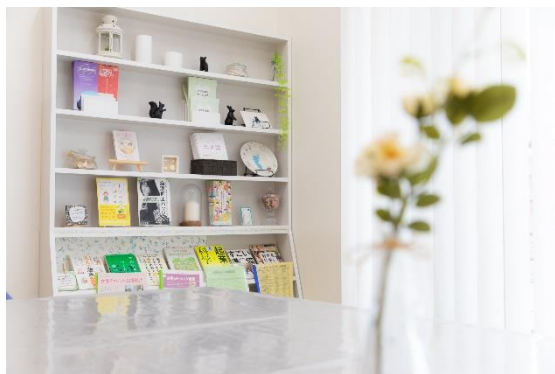


女性チャレンジ応援拠点だより 2021 8月

〇●〇●〇 コラム【8月、夏本番！】〇●〇●〇

8月は夏休み、子どもは長く大人は短いですが、自由な時間を堪能して英気を養い、秋からまた疾走して年末まで駆け抜けたいものです。遠出は今年も難しそうなので、近場でローカルに過ごす方が多いのではないのでしょうか。

ある大学教授が、夏こそ読書、それも哲学書がいいと話していました。酷暑で朦朧とした頭に檄を与えるのだそうです。哲学はちょっと真似できないかもしれませんが、読書で頭を潤すのは良さそうです。できれば「人間」、「心」を理解するための本を読むのはいかがでしょう。



というのも、8月の『チャレンジする人のニューノーマル』は、「支える仕事の〈こころ〉学び」をお伝えしたいからからです。一般的に「支える仕事」といえば、福祉・医療・教育の分野のサービスですが、それ以外のサービス分野でも、相手に応じたパーソナルな対応が品質評価の鍵になってきます。人間・心への理解はこれまでも大事なことでしたが、多角的な視点からとらえて理解することがサービスの質を左右することになりそうです。

「女性チャレンジ応援拠点」を利用されるみなさんは特に、ではないのでしょうか。多くの方が「支える」活動をテーマにされています。地域の子育てママ支援、カラダにいい食事研究、運動による健康づくり、自分らしい仕事の発見、ストレスマネジメントの芳香療法、その他、やることは違っても、テーマはその人のイキイキとした生き方を支援する点では同じです。

「人間」、「心」の理解といっても、永遠に理解しがたいことは自他ともに認めるところですね。だからこそ、知識を豊富にして、考える機会を多くつくり、理解の助けにします。心理学、認知科学、脳科学の一般向けの本を手始めに、学問の分野を超えた本なども良さそうです。

試しに「国立国会図書館」のサイトでキーワードを「人間を理解する」で検索すると、56件リストアップされました。文系、理系、入り混じって出てきます。「心を理解する」では73件でした。キーワードを工夫すると、オモシロイ本に出会えそうです。

ちなみに「大阪市立図書館」のサイトで「心を理解する」は、なんと111件。一番目にあがっていたのは、『心の臨床を哲学する』、51番目は『マーケティングは消費者に勝てるか？ -消費者の「無意識」VS.売手の「意識」-』、110番目は『子どもの世界をどうみるか -行為とその意味』、でした。古い本にも良いものがありますし、図書館はうまく活用したいものです。

活用といえば、「女性チャレンジ応援拠点」のある「クレオ大阪中央」にも図書室があります。女性のエンパワメントにつながる本がたくさんあります。そして4階の「女性チャレンジ応援拠点」ではみなさんが自分の力で未来を拓けるよう、後押しする「支える」仕事をしています。

スタッフ一同、みなさんの想い・心に寄りそえるよう、これからも多様な学びを続けます。ぜひとも積極的にご活用ください！

〇●〇●〇 感染対策をして開室しています〇●〇●〇

同時入室6名までとして、通常通り開室しています。初めての方もお久しぶりの方も、お気軽にお越しください！

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐5-6-25 クレオ大阪中央 4階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

※開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休業

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

